

鬼怒沼湿原 2030m (栃木県日光市)

定例山行報告 《大宮岳稜会》 提出者> 簗島

日時：令和5年(2023年)7月22(土)~23日(日) 担当正> 簗島、副> 島崎

メンバー：L> 簗島、報> 島崎、記> 簗島、高山 山崎 田島 鈴木 天野 金澤
久保 男・4名 女・5名 合計9名

装備：ツェルト(共同装備4個)、ヘッドランプ、雨具、防寒着、コンパス、地図、非常食、スマホ、

集合時間：6時50分 集合場所：大宮駅東武線改札口

22日(天気：晴れ後雨)

大宮駅 6:59—(東武ライン)—7:21 春日部駅 7:29—(東武ライン)—7:54 南栗橋駅 8:03—(東武日光線)—9:10 下今市駅 9:23—(東武鬼怒川線)—9:46 鬼怒川温泉駅 10:15—(日光市営バス)—11:50 女夫淵温泉 12:10…八丁の湯で昼食…日光沢温泉 15:00

23日(天気：晴れ)

日光沢温泉 5:07…湯沢峠分岐…7:35 鬼怒沼湿原 7:55…奥鬼怒山分岐 8:15…8:45 物見 9:00…湯沢出合 11:35…12:26 大清水 13:00 上毛高原行きバス 解散

感想：関東が梅雨明けをした22日、東武線を乗継、バスで女夫淵温泉へ到着。途中、八丁の湯の洒落たカフェで昼食をとり、日光沢温泉へ向かった。宿に入った途端大雨となり、何はともあれ温泉に直行。そして恒例の懇親会を開く。夕食は岩魚に天ぷら、肉料理と豪華で、満たされたお腹で寝る前にまた温泉にドボン。翌日は朝食をおにぎりに変えていただき5時過ぎに出発したが、歩き出して間もなく急登が始まり寝起きの体にはこたえた。山道は少しずつ傾斜が緩くなり、苔むした森の中所々にギンリョウソウを見ながらスタートして2時間半で湿原に到着した。思っていたよりお花(タテヤマリンドウ・ワタスゲ・サワラン等)が咲いていた。日光方面は天気が良く、日光白根山がドンと大きく構えていた。反対側の尾瀬方面は雲があり、本当は燧ヶ岳が見えるはずだったが姿が無かった。ここで大休止をとり物見山へ向かう。またまた山頂まで30分の登り。そして、この山頂から2時間の岩や木の根の張った急坂を全神経を集中して下降した。クタクタになった頃にやっと沢に出て、渡渉後林道を歩き大清水に到着した。鬼怒沼湿原から先をどうしても歩きたく、私のプランに参加していただいた会員の皆様、ありがとうございました。そして、お疲れさまでした。

